

令和3年6月1日

行政改革担当

国家公務員制度担当

内閣府特命担当大臣（規制改革・沖縄及び北方対策）

河野 太郎 殿

総務大臣

武田 良太 殿

厚生労働大臣

田村 憲久 殿

東京都知事

小池 百合子

## ワクチン接種記録システム（VRS）に関する要望

新型コロナワクチンを安全かつ早期に接種するためには、国民一人ひとりのワクチン接種状況を正確に把握することが重要である。

全国の自治体で、国が提供するワクチン接種記録システム（以下「VRS」という。）の活用を一層進めることにより、例えば、被接種者が転居した場合でも接種時期や接種回数、副反応の有無等について長期間にわたって追跡することが可能となるなど、その有用性が期待される。さらに、機能拡張を加えれば、電子カルテとの連携や既往症の記録など全国民を対象としたパーソナルヘルスレコード（PHR）普及の将来可能性を秘めているものである。

現在、東京都と区市町村は、希望する高齢者の方々が、7月末までに2回の接種を終えることができるよう取組を進めているとこ

ろであるが、現場でVRSを利用している都内区市町村から、早急に改善を求める声が多数寄せられており、国において抜本的な改善を速やかに講じるよう要望する。

## 記

- 1 タブレット端末での接種記録読み込みについて、バーコードでの読み取りができず、時間を要する上、読み込み精度が低いことから、読み込み精度の向上や、シートフィードスキャナーの導入など、抜本的な改善を図ること。
- 2 端末に医師名やワクチンのロット番号等をプリセットする仕組みであり、変更が生じる場合はプリセット情報を変更するか個別に入力しなければならない。そのため、複数の医師が従事する接種会場等においては予診票を分類しないと読込作業が困難であることから、複数の情報をプリセットできよう改善を図ること。また、副反応報告時に予診票の情報を活用できるよう、ワクチン接種シールを含む予診票全体を読み込み対象とするとともに医療機関からも参照できるようにすること。
- 3 医療従事者等の接種記録登録事務が大きな負担となっていることから、予診票の情報をデータ化して区市町村に提供する仕組みとなるよう改善を図ること。
- 4 氏名を検索する際、氏と名とが結合されて氏に登録されている場合も多く、2度の作業が必要になる場合が多いことから、1度の操作で可能となるよう、検索方法を見直すこと。
- 5 登録した情報が業務に活用できるよう、接種会場メニューで前日までの登録情報を参照可能とすること。

- 6 VRSとワクチン接種円滑化システム（V-SYS）、VRSと予防接種台帳及び住民基本台帳とがあり、それぞれ両システム間の連携が図られておらず、現場での負担が大きいことから、各システム間の接続・連携を進めること。